

# Wish

33  
2011年5月号

unicef 



©日本ユニセフ協会

## 国連ユニセフ 東日本大震災被災地へ緊急支援 子どもたちの笑顔が復興へ

兵庫からの発信を。

私たちはこれまで、途上国や紛争地の子どもたちのことを通じてユニセフのことを伝え、

「今の自分にできること」を考えるきっかけづくりとして活動に取り組んできました。

しかし、それは遠く離れた国の子どもたちのことでした。

そんな中に日本で起こった未曾有の災害。

被災地の子どもたちと日本中、世界の子どもたちみんなが

「手を広げ、心をつなぐ」活動を進めていきたいと思います。

アジアやアフリカの子どもたちのことも忘れず、そして、いのちの重みを伝え続けます。

みなさんといっしょに。

1
2
3

1 宮城県女川町第二小学校  
2 大船渡市の大船渡中学校・避難所  
3 街頭募金



# 心は地球のステージと共に

神戸からみんなの力、できる人ができることを

災害復興編

4月2日  
コープこうべ生活文化センター

東日本大震災の被災地・宮城県名取市から  
緊急医療支援活動真只中の桑山紀彦さんをお迎えし、  
「地球のステージ」を開催しました。

(参加者280人)



24時間開上地区を見つめるクリニックの灯

呼んでいただいて  
ありがとう

3月18日。エッセイ兵庫支部の  
福井事務局長は「今、神戸にいる私  
たちができることは『地球のステー  
ジ』を緊急開催し、被災地の今を知  
り、今後の活動につなげることだ」と  
考えた。

桑山さんとスタッフの方からも快諾  
を得、当日を迎えることとなった。

黙祷の後、  
地球のステージが  
始まった

今日神戸に呼んでいただいていたあり  
がとう。僕は阪神淡路大震災の時、  
長田で医療活動をして震災から多  
くを学びました。今日は被災地代  
表としてやってきました。今はがん  
ばるしかない。僕たちはそう思ってい  
ます。

まず始めは、『地球のステージ、ア  
フガニスタン編』です。避難民キャン  
プで紛争から立ち上がり普通のく

らしを取り戻す希望の光になったの  
は子どもたちでした。大人が辛い  
時、子どもたちの歌は元氣が出る宝  
物でした。

今回の大震災ではルワンダ出身の  
マリールーズさんも福島で被災し  
ています。

ルワンダは、大量虐殺という深い  
苦しみの中から目覚しい復興を遂  
げようとしています。僕は未来に向  
かって歩く高校生たちのまっすぐな  
気持ちを歌にして音楽会を開くこ  
とにしました。終わった後に校長先  
生は「今は多くの人に支えられてい  
ます。しかし未来は恩返しできるこ  
とを信じなさい。途上にある私たち  
が誇りをもつて生きることが大事で  
す」と言われました。

(続いて歌った曲の二番になると、桑  
山さんは言葉が出なくなり涙)

次の画面はスリランカ。スマトラ  
沖地震の津波の被害を受けた避難  
所での僕たちの仕事は「つありまし  
た。一つは心を支えること、心の中  
の重荷を削ることです。もう一つは  
自立支援です。少女プリミラとお  
母さんは新しいミシンを得て、自立

の道を歩き始めています。みんな  
人とながつて生きていく、その時  
の絆の強さを感じました。

津波は  
人も 記憶も 歴史も  
人生も

さてみなさん、今回の東北の災  
害は津波でした。これは僕の住んで  
いる開上です。昨日(4月1日)  
の360度の様子をどうぞ見てあ  
げてください。(桑山さんは「しっ  
かりしなさい、ぼくがしっかりとし  
なさい。代表できたんだから」とつ  
ぶやく)

津波は人も、記憶も歴史も人生  
もみんな押し流してしまいました。  
三週間後、人々はここに戻って来て、  
失ったものを心の中に取り戻そう  
とみんな必死なんです。街の人口  
が1500人。その内300人が  
亡くなり、200人が行方不明の  
ままです。3人に1人が...

(桑山さんが取って見てはしなかった  
と言う一枚の映像)

亡くなったおばあさん。人間の  
最後の姿でした。みんなさうやって  
亡くなっていったのです。そのとき  
僕は何もできなかった...。  
震災の次の日の朝がきて、何が  
起こったのか初めて知ることができ  
ました。  
次は大友さんの田んぼです。大

友さんの田んぼが水没して湖になっ  
てしまった。こちらは5月の頃の同  
じ田んぼです。もう一度見てくだ  
さい。大友さんの田んぼ。自然の力  
は容赦なく打ちのめしました。で  
も決して大友さんは諦めない。「お  
いしい宮城の米を作るんだ」って。

四日目に雪が降りました。これで  
もか、これでもかと。寒いし、電気も  
水もない。そこに雪かよ。  
桜井歩さんは正義感の強い人で  
した。ぼくが開上に国際クリニックを  
開く時、「歩さんに挨拶へ行つて来  
い。歩さんは何でもやってくれる。頼  
りになる人だ」と言われました。  
津波警報が鳴る中、歩さんは、おば  
あちゃんたちの家を「軒」軒説得して  
回って、やってきた波に呑み込まれ、  
歩さんは消防車の助手席でマイクを  
片手に握ったまま亡くなっていま  
した。「あんたらしいな。最後の最  
後まで見て見ぬふりはできなかった  
ろうな。無念だったろうな。」生き  
残ったばかりの仕事は、子どもた  
ちに、人の勇気とは、生きること、  
それから死ぬことの意味を伝えるこ  
とだと思えます。

1パーセントの希望が

僕たちの東北国際クリニックは地  
区でつだけ残った病院です。僕たち  
は24時間診療すると決めました。  
地区の人たちからは「国際さんはい  
つも開いている。診てもらえる」と言っ

てもらっています。それから全国か  
ら医師や看護師さん達も支援に  
やって来てくれました。

江里ちゃんも家が流されました。  
自分の家を見に行くと思いの出のい  
っぱいつまったアルバムが出てきま  
した。でも、江里ちゃんが「一番嬉し  
かったのはシクラメンが生きていたこと  
です。99パーセントの地獄の中に、1パー  
セントの希望が見えた瞬間でした。

剛さんはお母さんと「二歳になる息  
子さんが行方不明です。僕には一緒  
に泣くことしかできない。剛さんは  
「がれきの中で息子を見つけた時、  
ほっとしたす。ここにいたんだな  
あ」って話すんです。その様子を見  
て、人間って強いなあ。人が立ち上  
るってこういうことなのかって思いま  
した。

終わりのない  
ミッシオンへ

被災した子どもたちもいろんな  
ものを見てしまいました。折れる電  
柱、燃え上がる炎、手を差し伸べた  
のに助からなかった人の姿。今は、元  
氣そうにしていますが、これから心の  
ケアが必要です。その第二弾として  
サッカー大会をしました。子どもた  
ちに元気な笑顔が戻ってきました。  
パキスタンでもイランでもそうで  
した。

僕たちは、終わりのないミッシオン  
に入りました。今までは限りのある



避難所にて



東北国際クリニックにて



歩さんの消防車



子どもらは走る。避難所サッカー大会

どんな思いの中、来てくださったのだろう。そう思  
うと「私たちもいっしょにがんばろう」。心から「地  
球のステージ」と出会えたことに感謝しています。  
(地球のステージ神戸実行委員会)





体験

EXPERIENCE

民族衣装を着てみよう  
民族衣装を着たことが心に残りました。  
もっともって着てみたかった。



手作りキューブ

子ども大人も自分で作ったキューブを見て喜び、同じキャラクターが6面揃うことの不思議さにまたまた喜んでいただきました。

ユニセフを楽しく知ろう  
「ヤッター、ゴール!!」歓声をあげる子どもたち。すごろくを行ったり来たりして、やっとたどりついたゴール。貧しい国の子どもたちの思いを感じてくれたことでしょう。



心を世界をつなごう！  
世界のとちと



ブータンってどんな国？  
お話を聞かされたので、今年の夏にブータンに行く予定なので「幸せ」とは何か？答えが見つかるか？楽しみです。

ネパールからの研修生  
おみやげは研修生の方の穏やかな話しぶりと笑顔。ありがとうございました。



ルワンダへようこそ  
今日ここにきた子どもたちが世界の友だちと心をつないでほしいです。  
(日本ルワンダ学生会議)



ユニセフのつどい  
世界のとちと心をつなごう  
ユニセフ協会 兵庫県支部

PERFORMANCE

&amp;



ワークショップ

WORKSHOP

アフリカンダンス  
朝から、ダンスにどっぷりと時間を過ごし、幸せなひとときでした。いつも楽しみに参加させていただき、若い人のエネルギーをもらって体も軽く心も軽くなる感じがします。スタッフの皆様感謝いたします。



甲南女子大学チアリーダー部みなさん

PEACEエコキャップ運動

活動を伝えにきたつもりでしたが、逆に自分を考え直すことになりました。NPO、NGO、公的機関、ボランティア、アプローチの方法がこんなにもたくさんあることに驚きました。  
(大阪経済大学)



伊藤ハム株式会社

すごい!!アフリカの奇跡といわれ、子どもたちを救うプランピーナッツを見て、その栄養の力に感心の声がありました。



カンボジアでの活動

カンボジア女性が作ったグッズが素敵でした。



展示販売

EXHIBITION



国際居住研究会ソルト学生支部  
日本の若者が、フィリピンの人とくらしを理解している。そのことが素晴らしいと思います。

トークショー

TALKSHOW



カフェ

CAFE

フェアトレードカフェ  
ルワンダのコーヒー最高!!  
タンザニアのコーヒーもサイコー!!自然と人が作るワンダフル!!







#### 参加者の声

- ・「世界がもっと平和になってほしい」と思いました。
- ・本当に平和でより良い社会のために一人ひとりが一歩踏み出すことが大事だと思います。今回の参加が、まず一歩ですね!
- ・心の豊かさや発展のバランスが大事とのテンジンさんの言葉がとても良かったです。日本人も深く考えるべきだと思います。
- ・このようなイベントにもっと参加したい。時間さえあれば、ボランティアでお手伝いもしたい。また、機会があればスタディーツアーにも参加したい。
- ・世界の様々な場所で様々な活動をなさっている方々と交流でき、国籍や考え方や文化や言葉が違ってても「心が通じる」ことの大切さを教えていただきました。

竹村彩花 (たけむらあやか)

同志社大学在学。2010年3月のカンボジア地雷問題検証ツアーに参加、訪問した現地NGO「カンボジアン・ハンディックラフト・アソシエーション(CHA)」で9カ月間、障がい者の女性たちと寝食を共にしながら生活をし、2010年12月帰国。

## 心のつながり

九カ月のカンボジア生活で見えてきたもの

竹村彩花さん



竹村さんの爽やかな笑顔が、聴く人を一瞬にして惹きつけました。カンボジアには、内戦による地雷の被害を受けた人、混乱のためワクチンが無く、ポリオにかかった人が大勢います。しかし、国内の施策は十分とは言えません。CHAの活動と出会った竹村さんは、カンボジアで障がいを持った女性が生きていく厳しさを知りました。作業所で働く女性たちと寝起きを共にしながら、洋裁のスキルを身につけてもらって自立を支援するという活動に取り組みしました。また、新商品の開発や拡張、ニュースレター書きなどをして、活動の紹介にもつとめました。

「夢って、一人ひとり違います。夢って、想うから輝いていた。魅力的だったり、素敵だったりするのですね。一人ひとりが輝いている社会ができるといいな、と思います。」

カンボジアで得られた、人とのつながりを熱く語る竹村さんからは心のつながりの大切さが伝わってきました。

### 会場から寄せられた感想

「あなたの夢は？」という問いかけに戸惑った自分が情けなくなりましたが、そんなに構えなくてもいいのだと気付かされました。22歳の竹村さんのパワーに驚嘆します。「私達も何かしないか」という気にさせてくれます。そういう刺激をくださった竹村さんに感謝しています。

ブータンスタディーツアー報告

## 目に見えない大切なもの

片岡雅子さん  
(岡山県支部事務局長)



「ブータンは学校に入る前の教育に力を入れています。」を皮切りに、ブータンの魅力が盛りだくさんのお話でした。片岡さんが訪問したパロの学校は山肌を削った坂道と曲がりくねった道の先にあります。そこで出会ったのは、チベット仏教の僧侶になる子や親が育てられないため預けられた子どもたちでした。彼らの夢は医者や教師になり、国や家族みんなの役に立つことだそうです。それが自分の幸せだと言います。ユニセフの支援で学校内のトイレは水の流れる衛生的なものに改善されていました。しかしそれ以外にもまだまだ必要なことがたくさんあるそうです。この地域を支援しているユニセフのスタッフの方々と親切だったそうです。

さらに、素敵な話は続きます。ブータンの空気は世界で一番きれいです。青い空と白い雲、その中に風が通る道があるそうです。人々は人を思いやる気持ちをもち隣人たちとの相互依存を大切にしています。そして、国の理念に添って木を切らず自然と協調しながら持続可能な開発を目指しているそうです。だからこそ国民の96%の人が「自分は幸せ」だと答えることができるのでしょう。映像で見るブータンの自然は美しく、子どもたちや人々の笑顔は幸せなくらしを物語っているようでした。

片岡さんは「皆さんは何が幸せですか。自分の心の中に大切なものを思い浮かべてください。」と問いました。その後、実は大切なものは選べないほど身近にたくさんあり、それは人を

思う気持ちや人とのつながりの中にあると話されました。片岡さんは日本がブータンから学ばなければならぬことがたくさんあることを述べ締めくくられました。

「目に見えないものを大切に」この言葉からはブータンの人々が大切にしている心の豊かさを感じることができました。

### 会場から飛び出す質問

質疑応答では多くの質問が飛び出し、ブータンからの留学生、テンジンさんや山路さん(元青年海外協力隊員・ブータン赴任)が質問に答えてくれました。

Q 子どもたちが育つ国として、今からブータンに必要なことがあれば教えてください。

A 村の人はオープンです。みんな心の安定・心の幸せが一番だ、と思っています。お互いに、よく知り合うことを大切にしています。

Q ブータンの二年間で、良かったことと問題だと思ふことは、何でしょうか。

A ブータンの人の良いところは、家族や目上の人を大事に敬うところ。子どもたちの夢は、人の役に立つことが多いです。ブータンの人が困っていることは、「ゴミの問題」です。焼却炉が無く、ゴミ処理のルールがありません。(山路善太郎さん)

## ユニセフのつどいを終えて



今日のつどいに、朝からずうっと残って応援している人たちがいっぱいいることに感動しました。みなさんは、世界の子どものことを考えて、朝からこんなに頑張っておられるのです。いつも私のルワンダの子どもたちに「あなたがたのことを考えてくれる人がいる」ことを知らせています。そして、「あなたたちが毎日を

元気に過ごすことが、それに応えること」と言っています。

今日、時間を分かち合うことができたことは、神戸のみなさんと繋がって、いくことを創っています。

夢も幸せもあれば、幸せをのぞんで生きた。それをつかむために、あらゆる活動をする。

私たちは、地球の一人として命を預かった人です。この命を何に使いますか? この命を使って人のためになることをします。世界は繋がっています。出会いに感謝しています。

(NPOルワンダの教育を考える会 理事長 マリー・ルイーゼさん)

## 募金贈呈式を行いました

学校や職場、生協組合員への呼びかけ、また商品代金の一部がユニセフ募金につながる方法等、各団体の方から活動紹介をしていただきました。



**参加団体**

- 伊藤ハム株式会社
- 神戸市職員労働組合
- 神戸新聞厚生事業団
- コープこうべ
- コープこうべ労働組合
- 神戸市立鷹取中学校
- 尼崎市立小園小学校

### 日本ユニセフ協会 兵庫県支部 「理事会・ 評議員会」 を開催

3月14日(月)  
生活文化センター

今年度は特に「東日本大震災への支援活動」をすすめる、被災地を支援する体制づくりと共に、兵庫からも息の長い活動として取り組んでいくことを確認いただきました。

#### 承認議案

- |       |                      |
|-------|----------------------|
| 第1号議案 | 2010年度事業報告の件         |
| 第2号議案 | 2010年度決算(見込み)の件      |
| 第3号議案 | 2011年度事業計画(案)の件      |
| 第4号議案 | 2011年度収支予算(案)の件      |
| 第5号議案 | 役員等に関する件             |
| 第6号議案 | 兵庫県ユニセフ協会規約(案)一部改正の件 |



## ■あなたもボランティア

ユニセフってことは知っているけれど、いったいどんな活動をしているんだろう。世界の子どものために、私にできることはなんだろう。そんなことを思ったら、まずはご連絡ください。「できる人が できることを できる時に」がモットーです。お気軽にお問い合わせください。(連絡先:事務局078-435-1605)

## ■募金先はこちら

通信欄	振替口座	手数料
通常募金	00190-5- K1-280	免除 31000
東日本大震災	東日本大震災 K1-280	00160-2- 372895 ご負担 下さい
中東・北アフリカ	中東・北アフリカ K1-280	00190-5- 31000 免除
ハイチ地震	ハイチ K1-280	00190-5- 31000 免除
パキスタン	パキスタン K1-280	00190-5- 31000 免除
アフガニスタン	アフガニスタン K1-280	00190-5- 31000 免除
緊急復興	緊急復興 K1-280	00190-5- 31000 免除
アフリカ	アフリカ K1-280	00190-5- 31000 免除
自然災害	自然災害 K1-280	00190-5- 31000 免除
人道危機	人道危機 K1-280	00190-5- 31000 免除

世界の子どもたちのために

**Wish** Vol.33号  
(2011年5月号)

ユニセフ兵庫ニュース

2011年(平成23年)5月発行

発行:兵庫県ユニセフ協会

住所:〒658-0081

神戸市東灘区田中町5-3-18

コープこうべ生活文化センター4F

電話:078-435-1605

FAX:078-451-9830

(お問い合わせは平日の10時~16時)

●最新の情報はホームページで

<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo>

兵庫県ユニセフ協会

検索

●兵庫県ユニセフ協会への案内図



## 活動トピックス

2011年2月~4月(抜粋)

- 2/13(日) ユニセフカップ神戸  
パレンタインラプラン&チャリティウォーク
- 2/20(日) 生活創造センターフェスタ
- 2/27(日) 西宮ファミリーフェスタ
- 3/6(日) コープ4地区平和のつどい  
2011コープふれあいフェスタ宝塚
- 3/12(土) 3地区コープサークルくらぶ活動交流会
- 3/27(日) 2011ふれあい広場in塚口
- 4/10(日) ユニセフカップ2011芦屋国際ファンラン  
「東日本大震災被災者救援レース」



## お知らせ

「神戸まつりパレード」に参加

5月15日(日) 神戸から、東日本大震災の被災地へ元気をおくります。

「神戸から愛と元気を」

### ユニセフ入門講座

日時 ①4月23日(土) ②5月21日(土)  
③6月25日(土) 13~14時

いずれも、ボランティア連絡会の前半1時間を利用して、ユニセフの組織、歴史、募金、活動などについて基礎から学習します。ユニセフ活動に関心のある方、いっしょに学習しませんか。

会場 コープこうべ生活文化センター  
第1会議室

ポリオをなくそう チャリティ  
コンサート 世界をつなぐ

日時 6月19日(日)14時開演(13時開場)

会場 兵庫県公館

入場料 3500円

\*収益金はポリオワクチンに使用します

主催 国際ロータリー第2680地区

問合せ ポリオをなくそうチャリティコンサート係

電話 078-331-5615

\*会場では、ユニセフパネル「子どもの参加が未来をつくる」を展示します

### ユニセフ国際理解セミナー2011

日時 8月5日(金)

会場 コープこうべ生活文化センター  
第3会議室

これまでみなさまにご協力いただき活動していただきました日本ユニセフ協会兵庫支部は、(財)日本ユニセフ協会の公益法人化に伴い、名称が4月から「兵庫県ユニセフ協会」になりました。

これまでも地域でみなさまといっしょに活動をすすめておられますが、10年目を迎え、より一層、活動の充実に向けてみなさんといっしょにすすめてまいります。

今年度は特に、「東日本大震災」へのユニセフ支援活動を、兵庫でも積極的に取り組めます。16年前に震災を経験した私たちが「今、自分にできること」を、遠く離れた東日本

2011年4月  
「兵庫県ユニセフ協会」としてスタート

の子どもたちへ届けたい。その思いを忘れず、行動につなげていきたいと思っています。

もちろん、世界の途上国や紛争地での現状を現地報告会やパネル展を通じて伝えること、学習会やユニセフのつどい等は継続して開催します。そのどれもが、参加して下さるみなさんといっしょにつくりあげていくものです。

「兵庫県ユニセフ協会」へのみなさまの変わらぬ支援、協力を心からお願い申し上げます。